



## 2026年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年6月4日

上場会社名 ティーライフ株式会社  
コード番号 3172 URL <https://www.tealifeir.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西上 節也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営戦略部長 (氏名) 齋藤 正和

TEL 0547-46-3459

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年7月期第3四半期の連結業績(2025年8月1日～2026年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第3四半期	7,955	8.2	195	31.7	208	24.5	146	27.2
2025年7月期第3四半期	8,666	11.3	285	14.8	276	19.3	201	0.2

(注) 包括利益 2026年7月期第3四半期 120百万円 ( 27.5%) 2025年7月期第3四半期 165百万円 ( 22.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第3四半期	34.30	
2025年7月期第3四半期	47.17	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年7月期第3四半期	8,675	6,409	73.9	1,499.92
2025年7月期	8,777	6,432	73.3	1,507.29

(参考) 自己資本 2026年7月期第3四半期 6,409百万円 2025年7月期 6,432百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期		20.00		20.00	40.00
2026年7月期		15.00			
2026年7月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年7月期の連結業績予想(2025年8月1日～2026年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,105	3.4	258	43.3	271	40.1	188	47.6	44.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年7月期3Q	4,273,600 株	2025年7月期	4,267,900 株
期末自己株式数	2026年7月期3Q	224 株	2025年7月期	224 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年7月期3Q	4,271,038 株	2025年7月期3Q	4,265,378 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、海外経済の不透明感や物価上昇の影響を受け、回復の勢いは限定的となりました。賃上げにより所得環境は改善した一方、食料品を中心とした物価高が家計を圧迫し、個人消費は依然として力強さを欠く状況が続きました。また、中東情勢や米国の通商政策などの影響もあり、経済の先行きには慎重な見方が続いています。

卸・小売業界では、物価上昇の長期化による節約志向が根強く、消費マインドの本格的な回復には至っておらず、事業環境は、依然として不透明な状況にあります。

このような経済環境のもと、当社グループは安定的かつ継続的な成長と企業価値の向上を目指し、美と健康を通じて豊かな生活をサポートする企業として、「Mastering Today, Shaping Our Future!」「今日を極め、未来を創る」をスローガンとした中期経営計画の達成に向け、各事業の拡大および収益力の向上に取り組んでまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,955百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。

損益面では、営業利益は195百万円(同31.7%減)、経常利益は208百万円(同24.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益はのれんの減損等を37百万円計上したことにより、146百万円(同27.2%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (ウェルネス事業)

テレビショッピング向けの卸販売では既存主力商品の拡販に注力したほか、新商品の開発に取り組みました。実店舗向け卸販売ではキッチン系商品やギフト系新商品の拡販を推進しました。カタログ通販においては、顧客開拓の効率改善と販促規模の適正化を進めたほか、原料コスト上昇分の価格転嫁を実施する等、収益改善に注力しました。国内及び海外EC事業では運営コストの最適化や、オリジナル商品の拡充と在庫金額の適正化に努めました。また、海外で人気を高めている抹茶の輸出に関し、仕入先・販売先の開拓を進めました。

一方で、テレビショッピングの伸長鈍化、カタログ通販市場全般の縮小及びECモールの競合出店社数の増加に伴う競争の激化などの要因により、売上高7,232百万円（前年同四半期比9.3%減）、利益面では、原材料費・配送費・外部モール手数料増などのコストプッシュ要因、さらには米国市場への先行投資に伴う経費負担により、セグメント利益38百万円（同72.4%減）となりました。

#### (ロジスティクス事業)

ロジスティクス事業では、袋井センター・掛川センターの稼働効率改善と名古屋センターの顧客開拓営業に注力した結果、売上高は722百万円（前年同四半期比4.6%増）、利益面では人件費・光熱費等のコストプッシュ要因に対応し各センターの運用改善に努め、セグメント利益は156百万円（同6.9%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、8,675百万円(前連結会計年度末比102百万円減)となりました。

流動資産の増加(同22百万円増)は、主に現金及び預金が352百万円減少したものの、有価証券が127百万円、受取手形及び売掛金が125百万円増加したことによるものであります。

固定資産の減少(同116百万円減)は、主に土地が42百万円増加したものの、のれん・ソフトウェアの償却及び減損等により無形固定資産が69百万円、投資その他の資産が50百万円、建物及び構築物(純額)が23百万円減少したことによるものであります。

繰延資産の減少(同8百万円減)は、創立費及び開業費の償却及び減損損失を計上したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、2,265百万円(前連結会計年度末比79百万円減)となりました。

流動負債の増加(同658百万円増)は、主に未払法人税等が75百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金(固定負債からの振替により)500百万円、買掛金が165百万円増加したことによるものであります。

固定負債の減少(同738百万円減)は、主に長期借入金(流動負債への振替等により)574百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、6,409百万円(前連結会計年度末比22百万円減)となり、この結果、自己資本比率は73.9%となりました。

純資産の減少は、主に譲渡制限付株式報酬における新株式発行にて株主資本が3百万円増加したものの、其他有価証券評価差額金等24百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年9月4日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2026年6月4日)公表いたしました「特別損失(減損損失)の計上及び通期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の据え置きに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,016	2,663
受取手形及び売掛金	756	882
有価証券	100	228
棚卸資産	913	1,009
その他	189	215
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	4,970	4,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	629	606
土地	2,429	2,472
その他 (純額)	90	75
有形固定資産合計	3,149	3,153
無形固定資産		
のれん	140	100
その他	72	41
無形固定資産合計	212	142
投資その他の資産		
投資有価証券	182	77
その他	254	308
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	436	385
固定資産合計	3,797	3,681
繰延資産	8	0
資産合計	8,777	8,675

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	384	550
1年内返済予定の長期借入金	99	599
未払法人税等	81	6
賞与引当金	50	75
役員賞与引当金	7	—
その他	472	523
流動負債合計	1,097	1,755
固定負債		
長期借入金	819	244
退職給付に係る負債	85	92
資産除去債務	72	73
その他	269	99
固定負債合計	1,247	509
負債合計	2,344	2,265
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	368	371
資本剰余金	337	340
利益剰余金	5,725	5,722
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,430	6,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△23
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益累計額合計	1	△24
純資産合計	6,432	6,409
負債純資産合計	8,777	8,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
売上高	8,666	7,955
売上原価	5,588	4,915
売上総利益	3,078	3,039
販売費及び一般管理費	2,792	2,844
営業利益	285	195
営業外収益		
受取利息	4	10
受取配当金	0	0
為替差益	—	4
その他	6	4
営業外収益合計	11	19
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	16	—
創立費償却	1	1
その他	0	1
営業外費用合計	21	6
経常利益	276	208
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	46	1
補助金収入	3	—
特別利益合計	50	8
特別損失		
補助金返還額	—	1
減損損失	—	35
特別損失合計	—	37
税金等調整前四半期純利益	326	179
法人税等	124	32
四半期純利益	201	146
親会社株主に帰属する四半期純利益	201	146

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
四半期純利益	201	146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△24
為替換算調整勘定	0	△1
その他の包括利益合計	△35	△26
四半期包括利益	165	120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	120
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス 事業	ロジスティクス 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	7,975	191	8,167	—	8,167
その他の収益(注) 3	—	499	499	—	499
外部顧客への売上高	7,975	690	8,666	—	8,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	112	112	△112	—
計	7,975	803	8,779	△112	8,666
セグメント利益	139	146	285	△0	285

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス 事業	ロジスティクス 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	7,232	220	7,453	—	7,453
その他の収益(注) 3	—	501	501	—	501
外部顧客への売上高	7,232	722	7,955	—	7,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2	2	△2	—
計	7,232	725	7,958	△2	7,955
セグメント利益	38	156	195	△0	195

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

ウェルネス事業におきまして、収益性の低下により回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから35百万円の減損損失を計上しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	84百万円	87百万円
のれんの償却額	39	24